

日時：令和3年7月20日(火) 13時15分～14時45分

内容：講演・質疑応答(約1時間30分)

場所：WEB会議システム【zoom】にて開催(新型コロナ感染拡大防止のため)

うつ病の新規治療法 (ニューロフィードバック)の可能性

【講演概要】

うつ病は治療期間も長くなりやすく、生活の質に長期にわたり影響を与える病気です。患者さんの数は年々増えており、多くの場合、薬での治療が行われますが、治療が難しい方も一定数存在します。そのため、新たな治療方法の開発が進んでいます。

現在は、頭部MRIを撮影することで、脳の状態がわかるようになってきました。そこで、うつ病の方の脳の状態を、健康な方の脳の状態に近づけることで治療ができないか、と考えて進めているのが、ニューロフィードバックという方法です。まだ実用段階ではないですが、新規治療法として応用できるように、研究をしています。

今回は、うつ病についての基本的なこと、現在行っているニューロフィードバック研究について、少しでもわかりやすく伝えられたらと思っています。

【参加者に伝えたいこと】

- ・うつ病についての基本的なこと
- ・ニューロフィードバックの方法
- ・新規治療法としてのニューロフィードバックの可能性

茂木智和氏 <<ご略歴>>

2011年福島県立医科大学卒業。2020年群馬大学大学院医学系研究科修了。

群馬大学医学部付属病院にて気分障害外来を担当し、難治性うつ病や治療抵抗性うつ病を経験。既存の治療法以外でのうつ病治療方法の研究のため、2018年よりATRでニューロフィードバックの研究を進めている。

☆ゲストスピーカー☆



(株)国際電気通信基礎技術
研究所 (ATR)

脳情報研究所
行動変容研究室 研究員

茂木 智和 氏

参加費は無料、定員は50名(先着順)です。

申込み後キャンセルされます場合は前日までにご連絡ください。

□■ ■ お申込み受付期間 令和3年7月15日(木)まで ■■□

※参加人数に限りがございますので、お早めにお申込ください

※参加対象者

- ☞学研都市立地企業様・研究機関様
- ☞けいはんなラボ棟入居企業様
- ☞新産業創出交流センター参画機関様(大学・金融機関・地元自治体・産業支援機関等)
- ☞近隣企業・住民の皆さま など

※zoomについて：今回は交流会として開催しますので、zoomのミーティング機能を利用します。参加にあたっては、カメラ、マイクが付いたパソコンまたはスマートフォンをご用意ください。交流会参加にあたり参加者様には画面に映って頂く形になりますので、ご了解ください。
申し込まれた方には、事前にミーティングID(URL)をお伝えしますので、当日ログインのうえ参加お願い致します。

各内容をご記入の上、下記URLからお申込み下さい

WEB

<https://www.kri.or.jp/contact/science86.html>

【サイエンスカフェ】

毎回、科学技術を中心に、各界で活躍されている識者の方をゲストスピーカーにお迎えし、最先端の技術や動向を解説頂くと共に、参加者の皆さまの交流の機会として開催しており、今回で86回目の開催となります。

◆お問合せ先 公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構 新産業創出交流センター 森・池村
〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザ ラボ棟3F
TEL:0774-98-2230 FAX:0774-98-2202
URL: <https://www.kri.or.jp/> Email: sciencecafe@kri.or.jp (事務局宛)